# 時事新報

## 日米の新條約將に成らんとす

近來世上の噂を聞くに我が外務の當局者は其始め各國の使臣を一堂に集めて條約改正の會議を開き一時に同一の改正をなさんとして行はれざりしかば今度は各國別々に談判を試み雙方相許し相容るゝものより起手せんとの政策を取りて先づ第一に米國と協議せしに同國にては豫てより日本の條約改正を至當なりと認めたりけん滯りなく一致して或は來る十一月米國々會の開くるに當り上院に於て一應之れを評議し議了次第直ちに我が天皇陛下と米國大統領と互に批准するに至るなともあらんかと傳へ云ふ者あり實否固より知る可らずと雖も果して此風聞の如くならんには多年日本國民が寤寐に念頭を離れざる條約改正の陰雲も米國の天邊に雲切れを生じて聊か蒼空を顯はしたる次第なれば日本人民の喜悅は申すも更なり今後米國人は如何なる仕合せとなるべきや日本は改正の爲めに特に法律を作るにもあらず又彼國の法官を雇入るゝにもあらず唯みのまゝにして米人は此法律に服從して內地に居を安くし山西國左思ひの儘に居住を占め思ひの儘に旅行するを得るのみならず尋常一樣の商賣は勿論公債株券の賣買より或は不動產の授受に至るまでも都て日本人と異なる所なく從來尺寸の區劃內に蟄居して動もすれば强硬主義の手前に會釋したる其窮屈に比すれば恰も仙俗湖海の相違にして居留の外人多しと雖も亦米人の如く自由の幸福利益を享受すると能はざるべし抑も從來外國人が日本の法律に服從して各國普通の交際を爲すに躊躇したる其口實は一にして足らずと雖も主として恐るゝ所は身體の保安如何に在りしことにて利益も博したし、風土をも探りたきは萬々なれども斯身を擧げて日本政府の保護に一托せんとするに至ては生命を傷けられても或は其儘に畢るなどのこともありて如何なる危險變事に逢はんも測り難しとて一日々々と遷延し以て今日に至りしものゝ如くなれども畢竟彼等が我國情を知らざるに坐するのみ日本の警察は王政維新の後に於て始めて周密を誇るものにあらず古より深く注意の行屆きたるものにて開國草創の際外人に對して不穩の擧動を試むる者もありしかども是れは一時の夢幻場裏のことにして戰時と同樣、何れの文明國も同じ事實なれば云ふに及ばず尋常の場合を以てすれば人を殺傷して捕縛せられざるものは百中果して幾何あるや之を聞く歐米諸國にて殺人犯罪者の處刑せらるゝ者は百分の四十乃至五十にも足らずして餘は遂に露顯せざるか若くは捕縛せられても證據を曖昧に付して相當の刑を受けざるものありと云ふ吾々日本國民の聞いて悚然たる次第にして我國にては何とて斯る不始末あるべきや隨て人を殺せば亦隨て死に處せられ殆んど逃るゝに路なきが如きは即ち我警察の拔群なる所にして事は決して我輩の虛構に非ず今その一例を示さんに古來日本の盜賊社會に一種の教育ありて盜を働くに當り人を殺傷するものは愚なり野暮なり未だ共に盜事を謀るに足らずとて其社會に容れられず故に世に强盜を働くものは皆是れ素人の所業にして正眞正銘のものに非ずと云ふ本來本人殺盜賊の極に達したる盜賊が斯くも殺人犯を避るは他なし殺傷に及ぶときは必然事の露顯するが故なりとて固より盜賊社會の一奇談なれども亦以て我國の身體の安全なるを知るに足る可し又先年今の米國大統領の從弟にてシカゴの市尹たるハリソン氏が我國に渡航するに當り聞及ぶ日本とは未開野蠻の國柄なれば如何なる危害に遇はんも知る可らず同じくは用心に若くはなしとて短銃を懷にし死地に入るの思ひをなして來りしに扨實際の事情を見聞すれば想像とは雲泥萬里の相違にして身體生命の安全なる歐米諸國に勝るゝと遠きに驚き曩の誤想に赤面して取る手恥かしき短銃をば荷物の底に押隱し軈て本國に送返したるよし又現に過日の時事新報に記載したる佛國の教師夫婦が憲法發布の當日に橫濱港に安着して市民の異形に驚き文部大臣の訃報に色を失ひしが既にして實際の事情を聞き新聞紙面に奇談を留めたるが如き是亦一例として見るべし凡そ是等の點より視察するときは我輩が自ら日本を稱して世界第一の安全國と云ふも敢て爭ふ者あるゝ可し左れば米人が內地に雜居して心徐かに職業を營み縱橫四方に往來して格別危害を懼るゝに足らざる其自由幸福は他諸外國人の羨望に堪へざる所なるのみならず日本人民も亦聊か及ばざる所ありと云ふは米人に於ては今の居留地にも居住勝手なれども吾々に至ては此區域內に入ると能はず日本國土にてありながら日本人民の住居を許さゞるに米人のみ獨り無差別の自由を得んとす條約改正の効能も偉大なりと云ふべし豈啻に之れのみならんや更に進んで米國の名譽は如何と云ふに抑も日本をして二千餘年の陋習を改め國を開いて西洋諸國と通商貿易せしめたるものは第一に米國使節の力にあり當時は不完全なる條約を締結せしが流石に自由平等を愛する國民とて早くも日本の文明を察し普通の交際法に改めんとして諸外國に卒先して改正の談判に一致し從來の變則を改めて正則となしたるは啻に日本國民の心に忘れざる所のみならず世界の歷史上に大書して其名は末代に香ばしかるべし斯くて我國民が米人に對する感情淺からずして米人も亦之れに應じ雙方の交誼漸く親密にして諸般の便利を增すに至らば諸外國人は定めて不快の感ある可し誠に氣の毒の次第なれども是れは日本の罪にあらず吾々は諸外國人に對しても猶は米人に對するが如く成る可く同樣の交際を希望せしに遂に意の如くならざるに由るとなれば餘儀なくも氣の毒を忍ばざる可らず唯我輩の當局者に望む所はいよ〳〵批准の曉に當り米國人と諸外國人との間に嚴重なる區別をなして一視混合の間違なからんこと是なり蓋し外人は容貌と云ひ言語と云ひ尋常の我國人には容易に辨別すると能はざるが故に時として逸す可らざるの區域に逸したる者をも之を制するに惑ふとなきを期す可らず萬一左樣の事共あるに於ては條約の新舊に區別なきの議を免れざれば人情は人情、理義は理義として遺漏なく監督せられんこそ望ましけれ其方法に至ては當局者の考案に韜るの外なけれども我輩も亦私案を呈するとあるべし

## 官報

○神奈川縣下流行病取調申報　帝國大學に於て曩に神奈川縣下三浦郡に發生せる流行病の原因取調のため醫科大學衞生學教室補助富岡美矢太を同地に派遣せしか今般醫科大學教授緒方正規より帝國大學總長に申報せる該取調の梗槪は左の如し（文部省）

患者の總數は詳ならずと雖も其死亡數は橫須賀警察署第二回の報告に依れば百四十一人にして其多數は大田和、長坂及佐嶋の三箇村にありて武、林、蘆名、秋谷の四箇村は小數なり就中林及秋谷には各々一家ありとす而して各患者の家に就き質問したるは六箇村にして秋谷には赴かず

各村の人家は槪して高燥の土地にあり各家相隔絕し海濱に接する村落は佐嶋のみにして漁獵を業とするもの八九戶あり他は多く農を以て業とす

初發患者は長坂村字寺地千三百十八番地平民吉川四郎兵衞の長女たかにして其患家に就きて發病前の食物を質問するに三月十四日及十六日に於て長坂海濱にて採取したる牡蠣を味噌汁に入れ食するの外常に異なることなく翌十七日發病、二十日午後死亡せり尙は其弟二人も十九日に發病し一人は二十日午後五時、一人は二十一日午前二時死亡すと而して後の二人も姊たかと共に牡蠣の味噌汁を食せりと云ふ其他各村の發病ありたる家に就き質問するに患者の快復したる者或は死亡したる者は何も牡蠣を食せざる者なしと云ふ其中唯一人のみ牡蠣を多量に食したるも異狀なかりしと自ら唱ふる六十歲の老人あれども近隣の者に就きて之を糺すに實際牡蠣を食したる後一日不快なるを見受けたりと又各患者に就きて何日頃より牡蠣を食せしやを問ふに本年始て其海濱に夥しく牡蠣の發生したるを知りたるは三月十四五日の頃にして其以前は本年のみならず牡蠣あるを知らずと云ふ者多し然るに十四五日に至り夥しく牡蠣の發生したるを知りたる以來長坂、佐嶋、大田和等各村の小兒等爭ひて其牡蠣を採取し各家擧て之を食するに至れり然れども大人の男子は槪ね日々橫須賀に赴き造船所等の雇となり往復するを以て牡蠣を食したる者も少く隨て該病に罹りたる者至て稀なりと云へり

佐嶋村に於て田中新六なる者の一家は一人も該病に罹らず其四隣及近傍の家は皆之に罹れりと而して其罹らざる家に就きて質問するに該家は三月上旬死亡者（他病にて）ありたるを以て精進し牡蠣及魚類を食せざりしと云へり

林村は海濱を隔つること遠からずと雖も十七日は祭禮あるを以て十四五日の頃より一村擧て祭事に奔走し牡蠣の發生多きを聞くも之を採取するの暇なく槪して食せざりしと然るに同村岩澤茂左衞門方には該祭禮の時長坂村親戚より牡蠣を贈られ之を食し家族數人發病し其三男（七年七箇月）死亡せりと其他同村にて該病に罹りし者なしと云ふ

三月下旬數多の患者を發生したる以來村民は牡蠣を食せずと

家畜に就きて各患家に該病の有無を質問するに大田和村山田喜一郎飼養の猫一頭は（此家には小兒三人之に罹り三女九年七箇月死亡す）牡蠣を食し翌日前庭に於て其死骸あるを發見せりと又三橋幸吉の飼猫一頭（此家には六人該病に罹り內一人たけ六年死亡す）牡蠣を食し死したるを見たりと其他該病發生の當時猫の蹤跡を失ひしもの尙は五六戶あり然れども其死骸等は見る能はざりしと云へり

其他二三戶家雞の死亡せるものあるを聞けり

犬は各村とも甚だ稀にして該病發生の時死亡せしを聞かず

以上見聞の槪略にして尙ほ採取携へ歸りたる各村の飲料水、快復患者の排泄物及牡蠣等は實驗の上追て其成績を申報せん

○官吏の數　此頃北米合衆國政府は昨千八百八十八年十二月三十一日現在職員錄を發刊せり該職員錄に記載せる總人員は陸海軍人を除き十四萬二百八十五人にして此內百分の九は婦女なりと云ふ（去月二十日桑港每週ル、フランコ、カリフオルニアン）

## 雜報

○京都東本願寺上棟式の景況餘聞　去る九日を以て擧行したる京都東本願寺上棟式の景況は既に此程の紙上に揭げしが尙は同地よりの通信を見るに曰く去る八日以來上棟式の爲めに美濃、尾張、三河、三越、加賀、能登、並に大坂近傍三丹地方其他東國筋の各府縣より上京せしもの無慮十五萬人なりと左れば大坂、大津の兩停車場